

1 ねらい

読書の楽しさやすばらしさの体験をもとに、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな人間性や考える力を育む。

2 形式・書き方

400字詰め 縦書き 原稿用紙

小学校低学年の部（1・2年生） 800字（原稿用紙2枚）以内

小学校中学年の部（3・4年生） 1200字（原稿用紙3枚）以内

小学校高学年の部（5・6年生） 1200字（原稿用紙3枚）以内

（字数は目安です。量は問いませんので、まず本を読み、感動したことを文にまとめてみましょう）

☆原稿用紙1行目から本文。題名、学年、名前は原稿用紙枠外に記入。

☆自由に選んだ図書または課題図書（下記参照）について感想を規定字数でまとめる。

☆引用文（作者の解説、評論家の批評等）は「 」を使い、出典を示す。

3 本年度の課題図書

課題図書 小学校低学年の部

タイトル	著者	出版社
つくしちゃんとおねえちゃん	いとうみく/作 丹地陽子/絵	福音館書店
ばあばにえがおをとどけてあげる	コーリン・アーヴェリス/文 イザベル・フォラス/絵 まつかわまゆみ/訳	評論社
すうがくでせかいをみるの	ミゲル・タンコ/作 福本友美子/訳	ほるぷ出版
おすしやさんにいらっしやい！：生きものが食べものになるまで	おかだだいすけ/文 遠藤宏/写真	岩崎書店

課題図書 小学校中学年の部

タイトル	著者	出版社
みんなのためのいき図鑑	村上しいこ/作 中田いくみ/絵	童心社
チョコレートタッチ	パトリック・スキーン・キャトリング/文 伊津野果地/絵 佐藤淑子/訳	文研出版
111本の木	リナ・シン/文 マリアヌ・フェラー/絵 こだまともこ/訳	光村教育図書
この世界からサイがいなくなってしまう：アフリカでサイを守る人たち	味田村太郎/文	学研プラス

課題図書 小学校高学年の部

タイトル	著者	出版社
リンゴの木を植えて	大谷美和子/作 白石ゆか/絵	ポプラ社
風の神送れよ	熊谷千世子/作 くまおり純/絵	小峰書店
ぼくの弱虫をなおすには	K・L・ゴーイング/作 久保陽子/訳 早川世詩男/絵	徳間書店
捨てないパン屋の挑戦：しあわせのレシピ	井出留美/著	あかね書房

4 提出期日

8月19日（金）

～裏面に「感想文の書き方」を載せています。参考にしてください～

※**全学年①生活文A ②生活文B ③詩（①～③は別紙参照）④読書感想文のうち、1点選んで提出します。**

どくしょかんそうぶん か かた
＜読書感想文の書き方＞



☆ 時間の流れにそって、構成を考えよう

① 本を読んだきっかけは何？

なぜ、その本を読もうとしたのか、本を手にとったときの様子を思い出そう。

② 読んだ後の感想を一言で表すと？

短い言葉で、一言で表すとどんな言葉で言うといいかな。

③ ②の一言で書いた「感想の言葉」の理由は？

本文のどこでそう思ったのかな。

④ 本の内容と関連した自分自身に関わることは何？

自分の体験や、自分だったら…を書きましょう。

⑤ もう一度（二度でも三度でもよい）本を読んで、わかったことや感じたことは何？

初めの感想がどのように深まったのか。理由もいっしょに書き

ましょう。

⑥ 全体のまとめは？

伝えたい感想や自分の訴えたいことを書きましょう。

☆ 思ったこと、感想を表すための言葉を工夫しよう

- 「思いました」「よかったです」だけでなく、「どのように」思ったのかの、「どのように」に当たる言葉（文）を考えよう。

「よいと思った」ときの様子を表す言葉をもても、こんなにいろいろな表現があります。使い分けてみましょう。

一番〇〇である	うきうきする	おもしろい
かわいい	気に入る	じょうずである
すばらしい	気持ちがい	すごい
うれしい	元気がでる	さいこうである
だいすきだ	たのしい	たのしみである
よろこぶ	わくわくする	ときどきする
ものすごい	びっくりする	まんぞくする

